

令和6年
5月号

みみょう幼稚園だより



*****http://mimyo.org/youchien/



“めばえ・つぼみ組”へようこそ

3階の乳児室です。入園1か月を迎え、先生やお友だちと過ごすことに、安心感や落ち着きが見られるようになりました。一人ひとりの育ちや個性が満開で、可愛い笑顔に、やりたい、さわりたい、つかみたい、うごきたい…にあふれています。先生たちは、そうした様子を丁寧に見取って手作り玩具や段ボールの坂道など、毎日変化を加えながら用意をしています。園庭やテラスにも積極的に出かけています。大勢のお兄ちゃんやお姉ちゃんとのふれあいもどんどん楽しんでほしいと思います。

こどもも保護者も楽しく

新年度がスタートして、あっという間に一か月が経ちました。昼食も食べて帰るようになり、新しい生活に随分と慣れて、新入園児さんもみみょう幼稚園の一員として、元氣いっぱい過ごしています。新設された乳児組の0歳・1歳・2歳さんたちも新しい環境の中で、手作りの玩具や感触あそびにしっかりと興味を示し、果敢に挑戦する姿を見せてくれています。

幼稚園型認定こども園としてスタートを切った今年、これまで、信頼していただいていた教育内容を、いっそうパワーアップさせる大切な節目の年として、職員一同一丸となって教育・保育を進めて参ります。保護者の皆様もお気づきの点は、どうぞ遠慮なくお伝えください。皆さんといっしょに、より豊かで楽しい園生活を目指していきたいと張り切っています。

保護者の皆さんとともに

主体性を伸ばしていくために

懇談会でもお話させていただきましたが、子どもたちの健全なる育成には、ご家庭と幼稚園とが、同じ思いをもって教育や養育の環境を作っていくことがとても大切です。大好きなお家の人と大好きな先生が、異なる教えや行動を投げかけてしまうと、子どもはとても迷ってしまい、そのどちらの行動もとれなくなるだけでなく、大人への不信感にもつながりかねません。

例えば、幼稚園では、指示や制止、否定的な言葉をできるだけ遣わないようにしています。あらゆる場面で、子ども自身が気づいたり考えたりする機会を増やしていき、先生たちは、子どもたちのそうした姿をしっかりと理解し、認めてあげることを大切にしています。

新年度が始まり、初めてたくさんの新しいお友だちと出会ったつくし組さんや年少さんの保育室では、大好きなあそびを見つけたお友だちのおもちゃを取ってしまったり、中断させてしまったりする姿が見られます。泣いてしまうこともたくさんありますが、本当に危険な場合を除いて、先生たちは、決してこわい顔を見せたり、大きな声で咎めたりすることはありません。お互いの気持ちにしっかりと寄り添い、双方ともに、また張り切って遊び続けられるように促していきます。なかなか難しいことなのですが、子どもたちはそうした経験を繰り返すことによって、考えたり判断したりする機会が増え、自己肯定感や人への信頼感も育まれていきます。そして、一緒に遊ぶことの楽しさも知っていきます。0歳・1歳のお部屋でも同様に、一人ひとりの表情や思いをしっかりと尊重した関りをしています。お家の方でも、ぜひ、チャレンジしてみただけでないでしょうか、お忙しい毎日の生活の中で、待つ時間を持つことは難しいかもしれませんが、少し意識をしていただだけでも、大きな効果があると思います。可愛いお子さんを真ん中に足並みをそろえていきましょう。